



薩摩川内市立水引小学校
学校便り 第10号
令和7年1月21日



楽しい学校を創る

校長 柳田 健一

「春雲は綿の如く、夏雲は岩の如く、秋雲は砂の如く、冬の雲は鉛の如し」

俳人正岡子規が、「ホトトギス」の中で詠んだ句です。冬の雲は、積雲や層積雲などの比較的高度の低い雲で、太陽の高度の関係で暗くどんよりとしています。動きも少なく、凍雲とも呼ばれます。

2025年 比較的暖かい正月を迎え、8日に、令和6年度第3学期を迎えることができました。

新年を迎え、心新たに抱負を立て、一日一日を大事に過ごしていきたいものです。

年度最後の3学期は、当該学年のまとめや締めくくりとなる大事な学期であるとともに、卒業や進級に向けた次の学年への準備の0（ゼロ）学期でもあります。ここで改めて、表題にある「楽しい学校」とは、どんな学校なのか、その一部を書いてみたいと思います。皆さんが思い描く「楽しい学校」と比較しながら読み、考えていただけるとありがたいです。

1 子供たちが主人公の学校

学校の主人公は、子供たちで、「みんなが水引小学校の主人公なんだよ」と、声をかけています。学校の教育活動を、子供たちを中心に据えて実施しています。特別活動（係活動や委員会活動、話し合い活動、児童集会、クラブ活動等）や学校行事における進行や振り返りの共有などは、特に意識して実施していることです。毎年、児童会の目標を立てて取り組む他、学校キャラクターも作りました。子供たちが水引小学校を自分の学校と強く認識することが「楽しい学校」、「子供が主人公の学校」にするはじまりです。

2 学びを楽しむ学校

主人公である子供たちは、学校生活のほとんどを1コマ45分間の授業を、一日5～6コマ受けて過ごしています。「楽しい学校」にするには、子供たちにとって、「授業＝学びが楽しい学校」にすることが最も重要です。

(1) 楽しい授業をめざす

授業において、まずは「楽しく学べること」を優先した授業をつくります。楽しさは、子供の興味・関心・知的好奇心を高め、できるようになりたい、もっと分かりたいとの学習意欲を高めます。強いられたい学びでなく、自らの欲求のもと主体的に学ぼうとする姿へと導くことが重要です。授業においても、学習者主体＝子供が主人公の授業をめざすことは言うまでもありません。

(2) 個別最適な学びをめざす

教育研究は、教育方法研究だと言われます。ICT、特にタブレットの活用は、教育方法を大きく前進させました。これまで黒板を背にチョークを持って教師が解説する授業から、子供一人一人、個別の実態や欲求に応じた学習を可能にしました。また、タブレットを使わない学びを含めて学び方が多様になり、学び方を選択して学ぶことが可能になりました。本校は授業づくりにおいて、少人数のよさとタブレットを活用して「個別最適な学び」を実現します。

(3) 協働的な学びをめざす

学校での学びは、個別ばらばらに学ぶものではありません。基本は学級を単位に、集団での協働的な学びをめざしています。学ぶ過程においても、友達と協働で学べることは、これからの社会に生きる子供たちには重要なスキルです。またその過程は、まさに、互いを尊重し合う人権尊重の理念に通じています。本校では、今後児童数の減少が予想されています。今年度実施した水泳学習における学年合同での指導やチャレンジタイム等での全校によるコース別の国語や算数の授業、さらには修学旅行における学びの発表会に、4・5年生を招待して実施するなど、これらは協働的な学びを具現化した実践であり、児童数減にも対応した授業であると捉え、今後も推進していきます。

2月の主な行事

3日（月）いじめのない学校づくりの日
4日（火）中学校体験入学・入学説明会（6年）
家庭教育学級閉講式（水引小）
6日（木）スクールカウンセラー来校日
7日（金）水引トライアスロン（4・5年）
8日（土）土曜授業
10日（月）歯みがきががんばるデー
12日（水）新入生入学説明会
家庭学習強調週間～18日 移動図書
13日（木）第4回PTA総務部会
17日（月）命を大切に作る心を育む日
18日（火）スマホ・ケータイ教室（5・6年）
19日（水）第5回学校運営協議会
20日（木）クラブ活動見学（3年）
23日（日）子供と一緒に読書の日
26日（水）学級PTA 第3回学校保健委員会
28日（金）6年生を送る会 お別れ遠足

おめでとうございます

第43回全国児童画コンクール
優秀賞 2年 江畑 将生
入選 4年 出口 諒介



水引小ホームページ・ブログ

日々の教育活動の様子をブログで紹介しています。行事だけでなく、授業の様子だけでなく、児童の作品等も掲載しています。スマートフォンやタブレットで下のQRコードより閲覧できます。また、本校のホームページから寄田小、滄浪小、西方小、湯田小の動画（YouTube）にリンクしています。「各種資料」→「学校の記録映像と校歌」へ進み各学校名を選択すると、各校の映像と校歌が流れます。ホームページは、本稿タイトル横のQRコードから閲覧できます。ブログ・ホームページを是非ご覧ください。

令和6年度 2学期学校評価（保護者アンケート）結果（一部）

〔評価〕 A・・・そう思う B・・・どちらかというと思う C・・・どちらかというと思わない D・・・そう思わない

番号	項目	学期	A	B	C	D
7	お子さんは、人の話をしっかり聞き、自分なりの考えをもつことができるようになっていきますか。	1	35.3%	52.9%	9.8%	2.0%
		2	32.7%	58.2%	9.1%	0.0%
		3				
9	家庭では、お子さんの好きな本や、何冊読書しているかを ご存じですか。	1	7.8%	41.2%	33.3%	17.6%
		2	18.2%	32.7%	29.1%	20.0%
		3				
14	家庭では、ゲームやスマホの使用時間を決めたり、ノーメディアデーに取り組んだりしていますか。※ゲーム・スマホを一切触らせていない家庭は、評価はAをつけてください。	1	17.6%	56.9%	19.6%	5.9%
		2	23.6%	50.9%	20.0%	5.5%
		3				
15	家庭では、むし歯予防など歯と口の健康づくりに積極的に 取り組んでいますか。 （家での歯みがき、むし歯治療）	1	64.7%	23.5%	9.8%	2.0%
		2	49.1%	41.8%	7.3%	1.8%
		3				

学校評価（保護者アンケート）の実施についてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。2学期の回答率は1学期比7.9%増の88.7%でした。C評価は10%以上、D評価は5%以上の部分に網掛けをしています。

学校評価は、学校の教育活動についての評価です。各項目は、「お子さんは～」「家庭では～」という表現にしていますが、ご家庭の様子や保護者の意見をお伺いすることで、学校の取組みを評価しています。従って、C、Dの項目が1学期比で減少している項目は、取組の成果が出ていると捉えています。逆に増加している項目は、学校の取組が不十分であり、対策を講じていきます。例えば、9「読書に関する項目」は、学校からの情報発信に問題があると捉え、授業参観や学級PTA等で、お子さんが借りた本のリストや読書冊数についてお知らせをする計画です。14「メディア利用の項目」については、生活リズムチェック表の活用や、保健便り・学校保健委員会を通じての情報発信など、今後も継続して取り組んでいきます。また、自由記述欄のご回答についても内容を確認し、対応を検討してまいります。3学期も子供たちが、充実した学校生活を過ごせるよう、本校の学校教育についてご理解とご協力をお願いします。

日々の教育活動は水引小ブログ <http://mizuhiki-edu.seesaa.net/> をご覧ください。

